

建設資材の価格高騰への対応について

❖ 資材価格調査の頻度

○これまで

県発注工事における資材価格は年3回の単価改定を実施。

○今年度の対応

令和4年7月から毎月の資材価格調査を実施。

生コンクリート価格は、1月の大幅な高騰（4,000円/m³程度上昇）を設計積算へ迅速に反映させるため、

物価資料の掲載価格調査から市況価格調査（ヒアリング調査）へ切换え。

❖ 単品スライド条項の運用改定

○これまで

資材価格の増加分は「実際の購入価格」と「購入した月の物価資料の単価」を比較し、安い方の単価を用いて請負代金額を変更。

○今年度の対応

令和4年10月の運用改定により、購入価格が適当と示す証明書類を提出した場合は、実際の購入価格の方が高くても、変更後の単価として請負代金額の変更が可能。

○資材価格調査スケジュール

改定時期	これまで	令和4年度
4月	○	○
5月	—	—
6月	—	—
7月	○	○
8月	—	○
9月	—	○
10月	○	○
11月	—	○
12月	—	○
1月	—	○
2月	—	○
3月	—	○
合計	3回	10回